

令和 3年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	木原奉文
	全体計画						経費区分		-		内線	3416
事務事業名	4169 林業振興対策事業											
所 属	150100 産業振興部・農林課											
施 策	15012200 森林の多面的機能の維持保全と共生											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	060301 農林水産業費・林業費・林業振興費										
	事業	010000 林業振興対策事業										
事業目的						事業概要・効果						
森林のもつ多面的機能を強化するため、森林の整備・作業道等の開設を行い、間伐材の搬出を促進する。また、森林づくり推進支援金を活用して、県産間伐材製品の設置により、県産材の利用推進と森林整備の必要性の啓発を行う。						林業振興に対し、森林のもつ多面的機能の維持と保全と共生が図られる。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
意向調査事前準備事業委託 遊歩道路面水切工設置 3m 5か所 間伐材背もたれ式ベンチ8台 林地台帳及び森林情報システム年間保守委託 坂田山共生の森作業道復旧工事 ほか	意向調査事前準備事業委託 遊歩道路面水切工設置 3m 6か所 間伐材背もたれ式ベンチ8台 林地台帳及び森林情報システム年間保守委託 坂田山共生の森作業道復旧工事 ほか
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決 算	令和3年度 予 算
事業費		8,240	7,123
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	918	967
	地方債	0	0
	その他	11	6
一般財源		7,311	6,150
人員数(人)	正規職員	0.5	0.5
	嘱託職員	0.7	0.7
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	3,484.0	3,484.0
	嘱託職員	2,204.3	2,204.3
	臨時職員	0.0	0.0
	計	5,688.3	5,688.3
市民一人当たりの経費		0.3	0.2
総額		13,928.3	12,811.3

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	278	消耗品238、燃料費40
12節 委託費	2,544	坂田山共生の森業務委託料100、林地台帳森林情報システム保守委託330、意向調査事業業務委託852、森林病虫害等防除事業委託464 ほか
14節 工事請負費	1,093	遊歩道路面水切工378、作業道等復旧工事715
18節 負担金補助及び交付金	237	県治山林道協会賦課金175 ほか
その他	4,088	報酬1440、旅費6、役務費13 ほか

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	405	消耗品258、燃料費72、印刷製本費10、修繕費65
12節 委託費	4,167	坂田山共生の森業務委託料130、草刈等委託770、林地台帳システム保守業務330、意向調査事前準備委託2,442、森林病虫害等防除事業委託料495
14節 工事請負費	450	遊歩道路面水切工設置450
18節 負担金補助及び交付金	530	県治山林道協会賦課金262 ほか
その他	1,571	報酬1,440、旅費12、役務費112 ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	社会全体の財産としての森林が持つ多面的機能の維持を図る必要がある。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	森林経営管理制度による意向調査実施の準備事業を進めている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	森林環境譲与税を活用し、森林整備を進める。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

昨年度は、意向調査の準備を契機として、森林組合が坂田地区の森林の森林経営計画を樹立し、8.21haの間伐が実施された。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

山林は防災、水資源の涵養、温暖化防止など多くの機能があり保全振興は重要

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

森林経営管理制度による森林整備を計画的に進める。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--